

東海理化、GMSと資本業務提携を締結

～ アルコール・インターロック機能の普及を加速し、飲酒運転根絶に貢献 ～

株式会社東海理化（本社：愛知県丹羽郡大口町 代表取締役社長：二之夕 裕美）は、飲酒を検知して車両の起動を制御する「アルコール・インターロック機能」の提供を通じて、飲酒運転の根絶という社会課題の解決に貢献するため、Global Mobility Service株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：中島 徳至、以下「GMS」）と資本業務提携契約を締結しました。

GMSは、車両の遠隔起動制御IoTデバイス「MCCS®」を開発し、これまでに低与信層へのオートローンサービス提供を可能にしたFinTechサービスや車両の盗難防止サービスなどを提供してきました。同社は累計で338件の関連特許を取得し、全世界に累計4万台以上の「MCCS®」を出荷するなど、高い技術力と信頼性を誇る企業です。また、東海理化とGMSは「社用車向けアルコール・インターロック機能」を共同開発し、2025年1月より、東海理化の社用車管理システム「Bqey（ビーキー）」の追加機能としてサービス提供を開始しました。（詳細は[こちら](#)）

今回の資本業務提携により、東海理化は「MCCS®」のアルコール・インターロック用途における独占使用権を獲得しました。これにより、GMSとの協力関係をさらに強化し、アルコール・インターロック市場におけるリーダーシップを確立するとともに、同機能の普及を加速させ、飲酒運転の根絶に取り組みます。東海理化は交通事故の未然防止を通じて、人々が安全・安心に暮らせる社会の実現に貢献してまいります。



（写真左から）佐藤雅彦 副社長（東海理化）、二之夕裕美 社長（東海理化）、中島徳至 社長（GMS）、米花哲也 会長（GMS）

<参考>

【GMS (Global Mobility Service) 株式会社の概要】

本社所在地	東京都千代田区神田紺屋町15 グランファースト4F
代表者	代表取締役社長 CEO 中島 徳至
設立年月日	2013年11月25日
主な事業内容	・遠隔起動制御IoTデバイス「MCCS®」、データ分析プラットフォーム「MSPF® (モビリティサービスプラットフォーム)」を活用した FinTech 事業、車両盗難防止システムの開発・製造、飲酒運転防止技術の提供、およびデータの二次活用サービスの提供 等

Global Mobility Service株式会社ホームページ : <https://www.global-mobility-service.com/>

【会社URL】

株式会社東海理化 : <https://www.tokai-rika.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社東海理化 総務部広報室 (0587-95-5211)